

平成29年度事業報告

1. 平成29年度 大学地域連携事業部会 2 頁
2. 平成29年度 学生支援事業部会 6 頁
3. 平成29年度 インターユニバーシティキャンペーン推進事業部会 . . . 13 頁
4. 平成29年度 就職支援事業 15 頁
5. 平成29年度 単位互換事業 19 頁
6. 平成29年度 広報事業 25 頁
7. 平成29年度 滋賀県からの委託事業 26 頁
8. 平成29年度 ライフラーニング・プログラムモデル構築事業 . . . 27 頁

(以上)

平成30年3月31日

平成29年度 大学地域連携課題解決支援事業部会事業報告

1. 担 当

主担当 滋賀医科大学

副担当 長浜バイオ大学、滋賀県立大学、長浜市

参 画 放送大学、滋賀短期大学、びわこ学院大学

2. 部会活動

○ 第1回（平成29年7月13日）

- ・平成29年度部会事業の方針

○ 第2回（平成29年9月5日）

- ・環びわ湖大学地域交流フェスタ 2017

（11月25日（土）甲賀市で実施することが決定）

○ 第3回（平成29年11月2日）

- ・環びわ湖大学地域交流フェスタ 2017 実施の詳細、担当割振り

○ 第4回（平成30年1月26日）

- ・環びわ湖大学地域交流フェスタ 2017 実施結果の振り返り

アンケート結果：継続開催の希望多数（地域と学生の接点重要）により

フェスタ 2018 の開催決定

- ・大学地域連携課題解決支援事業 2017

平成28年度からの継続事業8件、平成29年度新規事業5件の全件ともに
目標達成を確認。

- ・環びわ湖大学地域交流フェスタ 2018 の開催対象市への依頼

○ 第5回（平成30年3月15日）

- ・平成30年度 大学地域連携課題解決支援事業の採択 等

- ・ 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2018 の開催市検討の進捗

(具体的な進捗を対象市に依頼)

3. 「環びわ湖大学地域交流フェスタ 2017」の開催

「地域課題解決支援事業部会」の活動報告会

- (1) テーマ 大学生と地域リーダーとの交流を深めよう
- (2) 日 時 平成 29 年 (2017 年) 11 月 25 日 (土) 13:00~16:30
- (3) 場 所 甲賀市『かふか生涯学習館』 (甲賀市甲賀町大原中 886)
- (4) 参加者 県内大学関係者・学生、自治体関係者、甲賀市自治振興会など 161 名
- (5) プログラム

- ① 開会
- ② 甲賀市挨拶 甲賀市長 岩永 裕貴
- ③ 基調講演「地域と若者が一緒にできること」
森川 稔 滋賀県立大学地域共生センター客員准教授
- ④ 環びわ湖大学・地域コンソーシアム活動報告会 14 題
- ⑤ ポスターセッション 14 題
関係者・来場者による「ベストポスター賞」の投票
(シールを貼付、評価結果の上位 3 プロジェクトを表彰)
- ⑥ まちづくり交流会 (学生と甲賀市自治振興会との交流会
「健康・学習」、「地域活性化」、「地域発信」、「地域資源」、「農業・環境」の
テーマで学生を分類し、事前に自治振興会の出席者を割り振った
- ⑦ 講評 (自治振興会より)
- ⑧ ベストポスター賞表彰式、副賞授与

【ベストポスター賞】 3 団体

団 体 名	取組テーマ・名 称
龍谷大学 理工学部 草津市 企画調整課	「明日行きたくなる！草津市の魅力発信映像」の制作
びわこ学院大学 東近江市 総務課	東近江市における空家の調査とその活用に向けての 提案と実践
滋賀県立大学 環境科学部 彦根市 生活環境課	学生と市民が主体で取り組むナガエツルノゲイトウ等の 駆除大作戦

大学地域連携課題解決支援事業2017

	no.	提案者	自治体担当者	大学担当者	取組テーマ	採択額	決算額
継続	1	滋賀医科大学長 塩田 浩平 (学生課長) 加藤 克典	大津市保健所 健康推進課 酒井 草津市 健康増進課 森田	滋賀医科大学医学部 医学科4年学生 宮嶋佑 輔	学生活動によるがん患者、がん患者家族を支援する活動 がん予防への意識を高める活動	100,000	98,820
	2	草津市教育委員会 文化財保護課 課長 藤居 朗	草津市教育委員会 文化財保護課 課長 藤居 朗	立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科 教授 及川 清昭 講師 青柳 憲昌	市内に残る歴史的建造物を保護・活用するための調査事業	100,000	100,000
	3	立命館大学 経済学部 金井ゼミ 客員教授 金井 萬造	甲賀市 総合政策部政策推進課 主事 折田 みゆき	立命館大学経済学部 客員教授 金井 萬造	「あいの土山 道の駅」再生・地域活性化拠点形成計画	50,000	50,000
	4	立命館大学 サービスマニカセンター センター長 高嶋 正晴	草津市 環境経済部農林水産課 特産振興グループ 主任 湯浅 圭太	立命館大学 共通教育推進機構 講師 宮下 聖史 サービスマニカセンター 主事 高橋 あゆみ	草津野菜の地産地消サポート、農業生産者および消費者の 高齢化対策、生産者と消費者がつながる環境づくり	150,000	134,449
	5	東近江市 市長 小椋 正清 東近江市 愛東支所 副支所長 奥村 清和	東近江市 企画課 谷 佑一郎	龍谷大学 農学部 食料農業システム学科 教授 淡路 和則	未来につながる「儲かる農業経営」	150,000	147,986
	6	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 総務部総務課 主事 庭田 恭平	びわこ学院大学 客員教授 谷口 浩志	東近江市における空家の調査とその活用に向けての提案と実 践	100,000	69,016
	7	彦根市生活環境課 主任 山本 武	彦根市生活環境課 主任 山本 武	滋賀県立大学 環境科学部環境生態学 科 准教授 野間 直彦 環境政策・計画学科	学生と市民が主体で取り組むナガエツルノゲイトウ等の駆除 大作戦	100,000	100,000
	8	長浜バイオ大学 学長 三輪 正直 サイエンスカフェ 代表 町田 樹洋	長浜市 総合政策部総合政策課 課長兼部次長 米田幸子 事務担当:主査 富永 拓	長浜バイオ大学 地域連携推進室 富 章	理系人材を育てる“サイエンスカフェ”の開催	150,000	122,038
新規	9	聖泉大学 学長 筒井 裕子 (担当)人間学部 准教授 脇本 忍	彦根市役所 産業部観光振興課 課長補佐 植田 勝彦	聖泉大学 地域連携交流センター センター長 間 文彦	「彦根映画観光ツーリズム」の提案と実践	200,000	200,000
	10	滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授 白井 宏昌	彦根市都市建設部 都市計画課 副主幹 志萱 昌貢 交通対策課 主事 前川 祐一郎	滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授 白井 宏昌	「彦根市の観光を豊かにするパブリック・スペースのあり方」 ー街路空間、空き地、空きスペースの活用による地域活性 化ー	200,000	199,726
	11	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 観光物産課 主事 佐子 都 主事 若林 涼介	成安造形大学 芸術学部 教授 大草 真弓	東近江市ブランドロゴの作成	200,000	200,000
	12	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 市民環境部交通政策課 係長 須田 良行	びわこ学院大学 教育福祉学部 准教授 ハン・ジュイン	近江鉄道の活用による地域活性化	200,000	196,987
	13	草津市 企画調整課 南川 等	草津市 企画調整課 林 良作	龍谷大学理工学部 岩嶋浩樹 実習講師	「明日行きたくなる！草津市の魅力発信映像」の制作	100,000	100,000

1,800,000 1,719,022

大学地域連携課題解決支援事業2018

	no.	提案者	自治体担当者	大学担当者	取組テーマ	申請額	採択額
継続	1	聖泉大学 学長 筒井 裕子 (担当)人間学部 准教授 脇本 忍	彦根市役所 産業部観光振興課 課長補佐 植田 勝彦	聖泉大学 地域連携交流センター センター長 間 文彦	「彦根映画観光ツーリズム」の提案と実践	200,000	150,000
	2	滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授 白井 宏昌	彦根市都市建設部 都市計画課 副主幹 志萱 昌貢 交通対策課 主事 前川 祐一郎	滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授 白井 宏昌	「彦根市の観光を豊かにするパブリック・スペースのあり方」 ―街路空間、空き地、空きスペースの活用による地域活性化―	200,000	150,000
	3	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 観光物産課 主事 若林 涼介 主事 羽泉 亮太	成安造形大学 芸術学部 教授 大草 真弓	東近江市ブランドロゴの作成	200,000	150,000
	4	東近江市 市長 小椋 正清	東近江市 市民環境部交通政策課 係長 須田 良行	びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 ハン・ジユン	近江鉄道の活用による地域活性化	200,000	150,000
	5	龍谷大学理工学部 岩嶋浩樹 実習講師	草津市 広報課 林 良作 草津川跡地整備課 森田 洋平 北野 慎治	龍谷大学理工学部 岩嶋浩樹 実習講師	「明日行きたくなる！草津市の魅力発信映像」の制作 ～旧草津川跡地公園～	170,000	150,000
新規	6	びわこ学院大学 学長 賀川 昌明	東近江市 健康福祉部 健康推進課 課長 大菅 昭彦 こども未来部こども家庭課	びわこ学院大学 教育福祉学科 准教授 内藤 紀代子	プレコンセプションケアの東近江市天秤プロジェクト	180,000	100,000
	7	立命館大学 経済学部松原研究室 教授 松原豊彦	甲賀市 総合政策部政策推進課 主事 谷口理恵	立命館大学経済学部 教授 松原豊彦	地域と学生が協力して考える廃校(休校)の活用方策	200,000	150,000
	8	立命館大学 スポーツ健康科学部 長積研究室 教授 長積 仁	草津市 スポーツ保健課 主査 寺尾 貴士	立命館大学 スポーツ健康科学部 教授 長積 仁	アクティブライフスタイルを誘発する戦略的ヘルスプロモーションの検討 ―くさつ健康ウォークがもたらす参加者の行動変容―	200,000	100,000
	9	みらいの環境を支える 龍谷プロジェクト 龍谷大学法学部2回生 鈴木 彩有里	東近江市 市民環境部 森と水政策課 主査 藤井盛浩	龍谷大学法学部 教授 牛尾 洋也	東近江市のニューツーリズム「フットバス」	200,000	100,000
	10	聖泉大学 学長 筒井 裕子 (担当) 人間学部 准教授 炭谷 将史	彦根市生涯学習課 主査 廣川雄一郎	聖泉大学 地域連携交流センター センター長 間 文彦	「彦根市防災キャンプ事業」	200,000	150,000
	11	彦根市教育委員会 教育長 善住喜太郎	彦根市教育委員会 事務局保健体育課 課長補佐 小椋朋子	びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 教授 川合 英之 スポーツ開発・支援センター 事務局 課長 松井 茂孝	今後の中学校運動部活動のあり方 ～彦根市全体のスポーツ推進につなげよう～	200,000	保留
	12	東近江市 市長 小椋正清	東近江市愛東支所 副支所長 奥村清和	龍谷大学農学部 食料農業システム学科 教授 淡路和則	学生と市民が一体となって取り組む「農」から広がる愛東のまちづくり ～気づかなかった資源の発見から宝の創造へ～	200,000	100000
	13	滋賀医科大学 学長 塩田 浩平	大津市保健所 健康推進課 小山 草津市健康増進課 小花	滋賀医科大学 医学部医学科5年学生 宮嶋 佑輔	学生活動によるがん患者、がん患者家族を支援する活動 がん予防への意識を高める活動、がん患者の就労支援を推進する活動	200,000	100000
	14	長浜バイオ大学 学長 蔡 晃植 (担当) 長浜バイオ大学 サイエンスカフェ運営委員会 代表 鉢嶺 聡史	長浜市 総合政策部総合政策課 課長(兼部次長) 米田裕治 事務担当:主査 小川敦	長浜バイオ大学 学生教育推進機構 学習・就業支援担当課長 富 章	小中学生に科学の楽しさを伝える「サイエンスカフェ」の開催	200,000	100000
	不採択	1	龍谷大学農学部 教授 佐藤 茂	大津市 産業観光部農林水産課 主査 津田 健太郎	龍谷大学 龍谷エクステンションセンター (REC) 水野 哲八	大津市固有の有用資源化を目指す「エイザンユリ」の植物学的検証と増殖プロジェクト	200,000
2		草津市教育委員会 文化財保護課 課長 藤居 朗	草津市教育委員会 文化財保護課 主事 馬場 将史	立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科 教授 及川清昭 講師 青柳憲昌 助教 藤井健中	市内に残る歴史的建造物を保護・活用するための調査事業	100,000	0
3		立命館大学経済学部 金井ゼミ・峯俊ゼミ代表 客員教授 金井萬造	甲賀市 総合政策部 政策推進課 主事 谷口理恵	立命館大学経済学部 客員教授 金井萬造	地域主体の甲賀市「紫香楽宮跡整備」の取組みと集客対策の検討	200,000	0

1,650,000

平成29年度学生支援事業報告

1. 担当

主担当 滋賀大学

副担当 立命館大学、成安造形大学

参画 びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀文教短期大学、放送大学

2. 事業概要

平成29年度の学生支援事業部会の取り組みは、平成28年度に引き続き、「学生による滋賀県魅力PRプロジェクト」とし、コンセプトは、学生の視点を活かした滋賀県の魅力発見と地域への情報発信とした。

活動内容としては、13大学から選出された学生および教職員でチームを編成し、「滋賀県魅力PR動画の制作」を行う。参加学生が滋賀県の各地域を訪問し、そこで地域の方々に取材したり、交流を深めたりしている様子を映像制作会社に撮影してもらう。参加学生と映像制作会社で映像の編集について意見交換を行い、動画を完成させる。完成したPR動画は環びわ湖大学・地域コンソーシアム等のホームページに掲載し、事業の成果物として発信するといった活動内容である。

3. 事業報告

①参加学生の募集

本年度の事業の実施にあたり、6月15日（木）に第1回目の学生支援事業部会議を開催し、滋賀県魅力PRプロジェクトとしてPR動画を制作することが確認され、今年度は、撮影地を2か所とし2本のPR動画を制作することとした。また、チーム編成については、参加学生の人数により判断し実施することとし、各大学から2～3名の学生を、7月7日（金）を主担当校（滋賀大学）の集約締め切りとして募集した。参加学生は以下のとおりである。

1. 長浜バイオ大学：1回生 3名
2. 滋賀文教短期大学：1回生 2名
3. 滋賀大学：3回生 1名、2回生 1名
4. 滋賀県立大学：2回生 3名
5. 聖泉大学：2回生 2名
6. びわこ学院大学・短期大学部：2回生 2名
7. 立命館大学（びわこ・くさつキャンパス）：4回生3名、3回生2名
8. 滋賀医科大学：4回生 1名

9. 龍谷大学（瀬田学舎）：1回生 1名
10. 放送大学（滋賀学習センター）：参加者なし
11. 滋賀短期大学：参加者なし
12. 成安造形大学：3回生 2名
13. びわこ成蹊スポーツ大学：3回生 1名、2回生 1名

計 25 名

②PR 動画制作場所の決定

第1回目の担当者会議を7月21日（金）に行った。

会議では、びわ湖放送企画営業部長竹内氏から、昨年度制作した映像を参考に映像制作の流れ、撮影をスムーズに進めるための絵コンテ、映像制作における注意事項などの説明を受け、その後参加学生が2つのグループに分かれ、パンフレット等の資料に基づき撮影地について検討を行い、①黒壁スクエア（古い町並み、グルメ、体験、写真映えも良い）②ビワイチ（メタセコイアの並木・木之本・余呉湖）③グランピング（米原市・グリーンパーク山東内、若者が対象、アクティブ、行ってみたい）④マリーンスポーツ（水上バイク、フライボード）が候補地として挙げられた。

引き続き、挙げられた候補地の内から撮影地の選定を参加学生で行い、「黒壁スクエア」と「ビワイチ」を撮影地と決定した。

今後の予定として、夏休み中である8～9月の間に、現地の下見、絵コンテの作成打合せ、実際の撮影を、4～5日かけて行うこととした。



撮影地検討の様子

③PR 動画制作のための現地訪問等

- ・ 9月6日（水）：撮影地である「ビワイチ」（マキノ・木之本・余呉湖）の下見。
学生 7名、職員 3名 参加

マキノ駅に集合し、自転車に乗っていざ下見へ。まずメタセコイアの並木、それからマキノのびわ湖岸を走った。その後電車で木之本に移動し、自転車に乗り木之本から余呉湖を回った。

下見の後、感想・撮影したい場所などを発表し、映像のイメージを共有した。



メタセコイア並木



琵琶湖岸

・ 9月7日（木）午前：撮影地である「黒壁スクエア」の下見。

学生 10名、職員 5名 参加

長浜駅に集合し、黒壁スクエアへ。(株)黒壁の笹原総務部長の案内で黒壁スクエアの説明を受けながら見学した。その後周辺の古い町並みや、気になる店を見て回った。



(株)黒壁・笹原氏による説明



黒壁スクエアの見学

・ 9月7日（木）午後：動画作成絵コンテ作成。

学生 7名、職員 4名 参加

動画作成のための絵コンテ（シナリオ）の作成を行った。作成に先立ち、びわ湖放送竹内氏から、絵コンテについての説明を受け、参加学生が「ビワイチ」担当と「黒壁スクエア」担当の2班に分かれ、絵コンテ作成に入った。それぞれ作成案を発表し意見交換を行い、修正を加え最終案をまとめた。



絵コンテ作成の説明



絵コンテ案の意見交換

・9月19日(火):「黒壁スクエア」撮影

学生 7名、職員 2名 参加

長浜駅に集合し、長浜駅前から黒壁スクエアへの道のりを撮影し、続いて黒壁ガラス館、ガラス工房の様子、吹きガラス体験などを撮影した。その後商店街での食べ歩きシーン「焼鯖そうめん」、「みたらし団子」、「ソフトクリーム」などを撮影し終了した。晴天にも恵まれ、びわ湖放送竹内氏の指導の下、参加学生が台詞や役どころを分担し、皆で楽しく撮影ができた。



吹きガラス体験



焼鯖そうめん食レポ

・9月22日(金):「ビワイチ」(マキノ・木之本)撮影

学生 5名、職員 3名 参加

マキノ駅に集合し、マキノ駅前で自転車をレンタルするシーンを撮影し、自転車に乗って撮影現場へ向かう。まずメタセコイアの並木を自転車で走るシーンを色々な角度から撮影し、マキノピックランドで「ぶどう狩り」のシーンを撮影した。続いてマキノのびわ湖岸を走るシーンや砂浜でのシーンなどを撮影した。その後木之本の「つるやパン」に移動し、「サラダパン」の食レポを撮影し終了した。天気はあいにくの曇り空(一時雨)であったが、なんとか雨に濡れずに撮影でき、参加学生から台詞や動きについて積極的にアイデアが出され、スムーズに撮影が進められた。



メタセコイア並木での撮影



サラダパンの食レポ

④PR 動画編集会議の開催

第2回目の担当者会議を10月17日（火）に行った。

会議では、仮完成したPR動画2点の試写を行い、タイトル名を「写真スポット巡り in 黒壁」と「一度はビワイチ マキノ～木ノ本」に決定し、びわ湖放送企画営業部長竹内氏から動画の内容の説明を受け、修正点などの意見交換を行った。出された意見をもとに修正を加え、大学地域交流フェスタ2017の開催までに完成することとした。

また、大学地域交流フェスタ2017について、資料に基づき情報を共有し、参加学生にフェスタへの参加と当日の発表を依頼した。



出来上がった映像の視聴



編集内容を検討

⑤大学地域交流フェスタ2017への参加

11月25日（土）に甲賀市「かふか生涯学習館」で開催された、環びわ湖大学・地域コンソーシアム大学地域交流フェスタ2017に、学生支援事業から5大学11名の学生が参加した。

活動報告会において、「大学生による滋賀の魅力PR動画発信プロジェクト」として今年度の取組を報告した。また、ポスターセッション会場において、ポスターとともに完成したPR動画を2本を放映した。



活動報告会の様子



ポスターセッション

⑥PR 動画の発信

12月22日（金）に環びわ湖大学・地域コンソーシアムのホームページへ完成し

た動画を掲載し、事業の成果物として発信した。

⑦成果として

今年度の事業に参加してくれた学生から感想を聞かせてもらったところ、「他大学の学生と色々と交流することができ楽しくていい経験になった。」「滋賀県の今まで知らなかった魅力にたくさん触れることができた。」「動画制作という普段あまり経験することのできない貴重な体験ができ楽しかった。」との内容の声が多く寄せられた。

これらは、事業に参加した学生達が、事業が進むにつれて連帯感が深まり、学生同士の交流が図られ、滋賀県の魅力を感じ、自ら楽しんで動画を制作してくれた成果であろう。今後滋賀県の魅力を発信してくれる存在になってもらいたい。

また、出来上がった成果物の滋賀県の魅力 PR 動画についても、参加学生から自画自賛の声も聞かれ、映像制作会社の助言を得て発信力のある動画が制作でき、映像制作について学ぶことができた。「一度はピワイチ マキノ〜木ノ本」では、びわ湖の風景など他府県にない滋賀の自然や、サイクリングはもちろん、その途中のグルメなど寄り道の楽しさもアピールすることができ、また、「写真スポット巡り in 黒壁」では、体験や食べ歩き、古い町並みなど様々な観点で「SNS映え」をテーマに、学生らしい表現ができた。

以上、本年度の学生支援事業の取り組みについては、一定の成果を残せたと考える。

4. 「近江牛を味わう！滋賀を楽しむ！しがのプレミアムツアー」

滋賀県農政水産部畜産課から環びわ湖大学・地域コンソーシアムに、「近江牛」生産・流通推進協議会のご厚意で近江牛料理の食事費を支援していただけるので、「学生が滋賀県内の観光地を回り、近江牛料理の食事をして、魅力をSNS等で発信する」という内容の事業の提案があり、学生支援事業の「学生による滋賀県魅力 PR プロジェクト」事業の一環として企画することとした。

(1) 企画概要

滋賀県では、県の名産である「近江牛」と県ならではの観光や体験とを結び付けて、「滋賀と近江牛の魅力」を急増する訪日観光客に対して PR し、来訪を勧誘する事業を進めており、環びわ湖大学・地域コンソーシアムでも、「近江牛」生産・流通推進協議会の後援・協賛を得て、県内の大学および短期大学に籍を置く学生（留学生含む）に、実際に近江牛料理の食事と県内観光をあわせた旅行を企画・実践して、魅力をSNS等で発信してもらおう。

(2) 旅行の企画と実施に関する主な要件

滋賀県の名産である近江牛の料理と、滋賀でしか味わえないサービス（観光、体

験、スポーツ等)を組み合わせて、“しがのプレミアムツアー”を企画し実施する。

- ・旅行先(観光、体験、飲食)は全て滋賀県内とし、日帰りとする。
- ・交通手段は、公共交通機関(電車・バス)、徒歩、自転車とし、自家用車での移動は不可とする。[交通費実費(公共交通機関に限る。)については、環びわ湖大学・地域コンソーシアムが負担する。]
- ・旅行中に必ず1回、近江牛料理の食事をとる。食事代について、一人につき昼食の場合3千円まで・夕食の場合5千円までを「近江牛」生産・流通推進協議会が提供する。
- ・県内の指定する近江牛料理提供店で食事をし、1か所以上の観光・体験を組み込む。
- ・旅行の内容や感想等を自身のSNS等から発信する。
- ・業務終了後、業務完了報告書(旅行行程、参加者、観光・食事の感想、SNS投稿への反応)を提出する。

(3) 募集人員

1 大学あたり1組2～3名(留学生を含む参加が望ましい。)全体で30名程度

(4) 事業報告

- ① 11月10日(金)に、環びわ湖大学・地域コンソーシアム(事務局、学生支援事業主担当)、滋賀県農政水産部畜産課、「近江牛」生産・流通推進協議会の3者で、企画(募集要項)の内容の確認、食事券の配付方法等について打合せを行った。
- ② 11月中旬に各大学へ学生の募集を依頼した。(応募期限11月27日)
- ③ 12月下旬に旅行者の決定(9大学25名)と食事券の送付を行った。
- ④ 1月から2月にかけて“しがのプレミアムツアー”を実施し、旅行者が自身のSNSを通じて「近江牛」や滋賀県の観光を大学生の目線でPRした。



滋賀の観光・近江牛料理の投稿画面

以上

平成30年3月31日

平成29年度インターユニバーシティ・キャンパス推進事業報告

1. 担当

主担当 滋賀県立大学

副担当 滋賀大学

参画 龍谷大学、立命館大学、成安造形大学、大津市、東近江市、長浜市

2. 部会活動

○「おうみ学生未来塾」の実施

①長浜バイオ大学 8月21日から23日 長浜市 受講者9名
(長浜バイオ大学4名 立命館大4名 滋賀大1名)

*当初登録 長浜バイオ大12名 立命館大4名 聖泉大 4名
滋賀大2名 計22名

②県立大学 8月18日から20日 彦根市 受講者24名
(フィールドワーク場所)長浜市 米原市 東近江市 近江八幡市
(県立大 16名 立命館大4名 大学院生4名)

*当初登録 県立大17名 立命館大6名 大学院生4名 計27名

③成安造形大学 8月28日から31日 大津市 受講者33名
(成安造形大学24名 立命館大学7名 聴講生2名)

○部会開催

第1回 平成29年12月12日(火) 15時～17時

1. 昨年度のインターユニバーシティ(IU)・キャンパス推進事業部会の事業報告
2. 本年度実施の「おうみ学生未来塾」の報告
3. 「県、市町、大学等連携代表者会議」開催案について
4. 今後のIU・キャンパス推進事業部会についての意見交換

第2回

○県、市町、大学等連携代表者会議の開催

日時:平成30年1月18日(木) 13時～17時

場所:環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室

参加者：38名

1. 基調講演 長浜市田根地区地域づくり協議会 代表理事 川西 章則 氏
「住民主体の地域づくりと大学生との交流の意義・受入体制」

2. 報告

(1) 地域を舞台とした大学の課題解決型授業

①「おうみ学生未来塾湖北」の実践と課題

長浜バイオ大学学生教育推進機構副機構長・教授 松島 三兒 氏

②「おうみ学生未来塾湖東」の実践と課題

滋賀県立大学地域共生センター助教 上田 洋平 氏

(2) 地域リーダーと大学生との交流

③大学生と自治振興会との「まちづくり交流会」の開催

甲賀市地域コミュニティ推進課係長 福田 かおり 氏

3. 意見交換（ワークショップ）

テーマ「地域と大学をどう結び付けるか」

コーディネーター 環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問 仁連 孝昭 氏

平成 29(2017)年度就職支援事業報告

大学産業連携事業委員会
就職支援事業部会

平成 29 (2017) 年度の大卒求人倍率は、景況感を反映して 6 年連続で続伸し 1.78 倍 (昨年 1.74 倍) となり、全国の民間企業の求人総数の前年の 73.4 万人から 75.5 万人へと 2.1 万人増加した (リクルートワークス研究所調査より)。結果として、厚生労働省が取りまとめた平成 30 (2018) 年 3 月卒業予定の大学、短大等の就職内定率 (2 月 1 日現在) は、前年同期比 0.7 ポイント増の 91.6%となった。

平成 29 (2017) 年度就職支援事業は、合同企業説明会の協力、各団体との意見交換の取り組みを継続するなど前年度の事業内容を基本にし、行政機関、経済団体と連携して取り組んできた。

以下、平成 29 年度 (2017) 年度就職支援事業の状況について報告する。

1. 就職支援事業部会 : (主担当校) 立命館大学、(副担当校) 聖泉大学
(参画校) 龍谷大学、びわこ学院大学、滋賀短期大学
長浜バイオ大学、びわこ成蹊スポーツ大学

2. 平成 29 (2017) 年度事業
 - (1) 合同企業説明会 (協力)
開催済 15 回 (昨年 17 回)。
参加学生総数 942 名 (昨年 1,536 名)、参加企業総数 579 社 (昨年 731 社)。

 - (2) 滋賀県企業人事担当者と大学就職・進路担当者との情報交換会
 - ・平成 29 年 9 月 25 日に理系大学と企業との交流会を実施済。
(参加企業) 52 社
(参加大学) 龍谷大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学、立命館大学、京都産業大学
 - ・平成 30 年 2 月 28 日に県内大学と企業との意見交換会を実施済。
(参加企業) 31 社
(参加大学) 9 大学、短大

 - (3) 大学就職・進路担当者間の情報交換会・研修会
 - ・平成 29 年 9 月 8 日に就職支援事業部会の参画校と関係機関との意見交換会を実施済。各自治体や団体の取り組み状況や今後の計画、参画校の就職内定状況と今後のスケジュール等を共有。県内企業へ学生の意識を向けるための取り組みについて意見交換した。

 - ・平成 30 年 1 月 19 日に就職支援事業部会主催の県内大学職員向けの研修会を実施済。
テーマ「障がいのある学生に対する進路・就職支援」
10 大学、13 名が参加した。

- (4) 学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント
平成 29 年 12 月 10 日に「環びわ・しが就活塾」を南草津にて開催済。
県内企業 7 社、参加学生数 49 名。
- (5) 滋賀県との共催事業
なし
- (6) 企業採用経験者による模擬面接会
例年同様、滋賀経済産業協会の協力により、実施を希望する大学向けに企業採用経験者による模擬面接会を開催済。

3. 参考資料

- (1) 2017 年度就職支援事業一覧

以 上

		2017年度事業	担当校	2016年度事業	2016年度担当校
1)合同企業説明会	①	日時 6/7 「滋賀学生フェア 2017」草津会場 場所 クサツエストピアホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:59社 参加学生数:134名(新卒:110名、既卒:24名)		日時 6/22「滋賀学生フェア 2016」草津会場 場所 クサツエストピアホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:74社 参加学生数:233名(新卒:194名、既卒:39名)	【湖南会場①】 立命館大学
	②	日時 6/13 「滋賀学生就職フェア 2017」長浜会場 場所 北ビワコホテルグライエ 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:50社 参加学生数:75名(新卒:68名、既卒:7名)		日時 6/28「滋賀学生就職フェア 2016」長浜会場 場所 北ビワコホテルグライエ 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:60社 参加学生数:130名(新卒:118名、既卒:12名)	【湖北会場①】 長浜バイオ大学
	③	日時 7/14「湖東地域就職フェア」 場所 ホテルニューオウミ(近江八幡市) 主催:ハローワーク東近江、近江八幡商工会議所、東近江地域雇用対策協議会ほか 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:37社 参加学生数:46名(内訳:新卒 名、既卒 名)		日時 7/15「湖東地域就職フェア」 場所 ホテルニューオウミ(近江八幡市) 主催:ハローワーク東近江、近江八幡商工会議所、東近江地域雇用対策協議会ほか 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:43社 参加学生数:76名(内訳:新卒61名、既卒15名)	【湖東会場①】 聖泉大学
	④	日時 7/4「甲賀JOBフェア」 場所 クサツエストピアホテル 参加企業:51社、学生数:87名 主催:甲賀市、ハローワーク甲賀		日時 8/04「甲賀JOBフェア」 場所 碧水ホール 参加企業30社、学生数46名 主催:甲賀市、ハローワーク甲賀 日時 8/24「甲賀JOB in草津」*新規 場所 クサツエストピアホテル 参加企業40社、学生数41名	【湖東会場②】 びわ湖学院大学 びわ湖学院大学
	⑤	日時 8/4「東近江市で働こう! 合同就職面接会」 場所 能登川コミュニティセンター 主催:東近江市就労対策協議会 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:45社 参加学生数:55名(新卒25名、既卒5名、一般25名)		日時 8/05「東近江市で働こう! 合同就職面接会」 場所 能登川コミュニティセンター 主催:東近江市就労対策協議会 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:38社 参加学生数:42名(新卒32名、既卒10名)	【湖東会場③】 びわこ学院大学
	⑥	日時 8/21「おおつ学生就職フェア」 場所 びわ湖ホテル 主催:大津市 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:63社 参加学生数:101名		日時 8/17「おおつ学生就職フェア」 場所 びわ湖ホテル 主催:大津市 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:59社 参加学生数:188名	【湖南会場②】 立命館大学
	⑦	日時 7/27「あいの甲賀土山企業面接会」 場所 ダイヤモンド滋賀 主催:あいの甲賀土山合同企業面接会実行委員会 参加企業:9社 参加学生数:7名(新卒0名、既卒3名、一般3名、3回生:1名)		新規 日時 8/30「あいの甲賀土山企業面接会」 場所 ダイヤモンド滋賀 主催:あいの甲賀土山合同企業面接会実行委員会 参加企業:9社 参加学生数:12名(新卒4名、既卒8名)	
	⑧	日時 7/21「びわ湖たかしま就職フェア」 場所 安曇川ふれあいセンター 主催 高島市 参加企業:32社 参加学生数:42名		新規 日時 9/14「びわ湖たかしま就職フェア」 場所 高島市観光物産プラザ 主催 高島市 参加企業:27社 参加学生数:38名(内訳不明)	
	⑨	日時 7/6「彦根地区合同企業説明会」 場所 草津市立まちづくりセンター 主催:彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 協力:彦根商工会議所 滋賀新卒応援ハローワーク(一社)環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:21社 参加学生数:41名		日時 10/06「彦根地区合同企業説明会」 場所 マリアージュ彦根 主催:彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 協力:彦根商工会議所 滋賀新卒応援ハローワーク(一社)環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:42社 参加学生数:37名(新卒27名、既卒10名)	【湖東会場④】 聖泉大学
	⑩	今年はない		日時 10/25「滋賀学生就職フェア 2016」 場所 クサツエストピアホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀県、滋賀経済産業協会、おうみ若者未来サポートセンター 協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:60社 参加学生数:128名(新卒:85名、既卒:43名)	【湖南会場③】 龍谷大学
	⑪	日時 10/13 「湖北就活ナビ」2017 場所 長浜バイオ大学 主催:湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会 参加企業:50社 参加学生数:65名(新卒48名、既卒17名)		日時 10/14「湖北就活ナビ」2016 場所 長浜バイオ大学 主催:湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会 参加企業:50社 参加学生数:96名(新卒75名、既卒21名)	【湖北会場②】 長浜バイオ大学

		2017年度事業	担当校	2016年度事業	2016年度担当校
	⑫	日時 2/3 「東近江市で働こう！ 合同就職面接会」 場所 能登川コミュニティセンター 主催：東近江市就労対策協議会 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、おうみ若者未来サポートセンター 参加企業：43社 参加学生数：54名（新卒：14名、既卒・一般38名、3回生の見学：2名）		日時 11/28 「東近江市で働こう！ 合同就職面接会」 場所 能登川コミュニティセンター 主催：東近江市就労対策協議会 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム、おうみ若者未来サポートセンター 参加企業：36社 参加学生数：39名（新卒：22名、既卒：17名）	びわこ学院大学
	⑬	日時 2/16 「SHIGAジョブフェア」 場所 クサツエストピアホテル 主催：滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業：50社 参加学生数：123名（新卒：15名、既卒：21名、一般：23名、3回生の見学：59名）		18卒対象 日時 2017/02/21 「滋賀学生・若年者就職フェア 2017」 場所 クサツエストピアホテル 主催：滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力：環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業：60社 参加学生数：78名	【湖南会場④】 滋賀短期大学
	⑭	2019彦根地区合同企業説明会 日時：3/8 場所：マリアージュ彦根 主催：彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 参加企業：26社 参加学生数：75名		18卒対象 日時：2017/3/9 場所：マリアージュ彦根 主催：彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 参加企業：43社 参加学生数：103名	【湖東会場⑤】 聖泉大学
	⑮	(新規)2019彦根地区合同企業説明会 日時：3/16 場所：草津市立まちづくりセンター 主催：彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 参加企業：22社 参加学生数：31名			
	⑯	日時：3/15 「滋賀・湖北就職セミナー」 場所：文化産業交流会館(米原市) 主催：長浜商工会議所・学卒採用戦略委員会 参加企業：21社 参加学生数：101名		18卒対象 日時：2017/03/16「滋賀・湖北就職セミナー」 場所：文化産業交流会館(米原市) 主催：長浜商工会議所・学卒採用戦略委員会 参加企業：17社 参加学生数：146名	
2)滋賀県企業人事担当者と大学 就職担当者との情報交換会		日時 9/25 理系大学と企業との交流・懇親会 場所 コラボしが21 参加企業：52社(68名) 参加大学：5大学(9名) 主催：滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム ※加盟理系4大学と滋賀経済産業協会加盟企業との懇談会	立命館大学	日時 9/21 理系4大学と企業との交流・懇親会 場所 クサツエストピアホテル 参加企業：33社(44名) 参加大学：4大学(11名) 主催：滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム ※加盟理系4大学と滋賀経済産業協会加盟企業との懇談会	立命館大学
		日時 2/28 県内大学等と企業との情報交流会プログラム 場所 コラボしが 参加企業：31社 参加大学：9大学、短大 滋賀大学、滋賀県立大学、滋賀短期大学、滋賀文教短期大学、聖泉大学 長浜バイオ大学、びわこ学院大学、龍谷大学、立命館大学		日時 3/6 県内大学等と企業との意見交換会 場所 クサツエストピアホテル 参加企業： 社 参加大学：12大学 主催：滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム	
3)大学就職担当者間の情報交換会・研修会の実施		日時 9/8 関係機関との意見交換会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加：7大学(8名)、中央会：2名、労働局：1名、滋賀県：2名 滋賀県経済産業協会：2名、大津市：1名、東近江市：1名、甲賀市：1名、高島市：1名 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局	立命館大学、聖泉大学	日時 9/9 滋賀県中小企業団体中央会との懇談会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加大学：7大学(7名)、中央会：3名、環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局 日時 9/9 関係機関との意見交換会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加：7大学(7名)、中央会：2名、労働局：1名、滋賀県：2名、ヤングジョブセンター：1名、 滋賀県経済産業協会：1名、大津市：1名、東近江市：1名、長浜市：2名、甲賀市：1名、 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局	立命館大学、聖泉大学 立命館大学、聖泉大学
		日時 1/19 大学就職担当者間の情報交換会・研修会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加大学：10大学 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム テーマ：障がいのある学生に対する進路・就職支援	龍谷大学 滋賀短期大学	日時 1/20 「就職担当職員のSPIおよび面接官トレーニング」(仮称) 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加大学：7大学 主催：滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム	びわこ成蹊スポーツ大学
4)学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント(ミニ・インターンシップ)		日時 12/10 「環びわ・しが就活塾」 場所 草津市立市民交流プラザ フェリエ南草津5階 主催 滋賀中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、 参加企業：7社(近江鉄道、オブテックス、叶 匠寿庵、甲賀高分子、滋賀銀行、滋賀特機、日吉) 参加学生数：49名	立命館大学、聖泉大学	日時 12/10 「環びわ・しが就活塾」 場所 近江八幡市 男女共同参画センター 主催 滋賀中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、 COO(文部科学省地方創生推進事業) 参加企業：5社(樹日吉、たねやグループ、滋賀特機、(株)清水合金製作所、(株)オーケーエム 参加学生数：23名	立命館大学、聖泉大学
5)滋賀県男女共同参画課と共催企画(ワーク・ライフ・バランス講演会の開催ほか)		今年はない	立命館大学	日時 11/26 場所 草津市市民交流プラザ 「ハッピーキャリアカフェ」	立命館大学
6)企業採用経験者による模擬面接会		期間 5/17から7/31 場所 実施希望大学	実施校個別対応	期間 5/16から7/29 場所 実施希望大学	実施校個別対応

2017年度 単位互換事業 報告

1. 担当校について

主担当校 龍谷大学
副担当校 滋賀医科大学

2. 取り組みの経過について

2016年11月21日に環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室において、単位互換事業委員会及び教務担当者会議合同会議（以下「合同会議」という。）を開催し、2017年度の単位互換事業の進め方（「ガイドライン」）について審議・決定し、2017年度の事業を開始した。

各大学からの提供科目及びシラバス原稿の集約を行い、3月下旬に環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換制度のHPを更新し、また各大学に募集チラシ・ポスターを配付し、募集活動を開始した。

4月上旬から、各大学で募集ガイダンスと出願受付を行い、4月末に科目提供大学で受講者を決定し、各大学で単位互換科目の授業が行われた。

2017年6月28日に同会議室において合同会議を開催し、単位互換事業の進捗状況の報告を行った。また、履修登録学生が授業を欠席する場合には、受講生本人から科目提供大学へ連絡することを改めて確認した。

2017年11月30日に合同会議（メール審議）を開催し、2018年度単位互換事業ガイドライン及び単位互換事業履修生募集ガイドについて審議・承認した。また、あわせて2017年度後期試験時間割・成績処理日程等の確認を行った。

3. 単位互換事業の内容について

(1) 提供科目

2017年度の提供科目数は64科目で、2016年度（73科目）と比べて9科目減少した。集中講義は9科目で前年度より3科目増加し、滋賀らしい科目は13科目で前年度より2科目減少した。

【別紙（1） 提供科目一覧（2017年度） 参照】

(2) 受講科目及び受講者数

提供科目のうち、他大学生が出願し受講が許可された科目数は21科目であり、前年度（27科目）より6科目減少した。受講率（＝受講科目数÷提供科目数）は33%で、前年度（37%）より減少となった。また提供科目に対し受講者数が0名となった大学は3校で、前年度（0校）より3校増加した。

受講者数は、延べ107名（実数81名）であり、前年度（142名）より35名（実数では20名）の減少となった。また出願数は127件であり、前年度より15件減少している。

本年度も集中講義の人気は高く、集中講義9科目で79名の受講者数となり、「滋賀論」（前期集中・聖泉大学提供科目）は37名の受講者を集めた。また「地域を学ぶ 地域で学ぶ～瀬田キャンパスと周辺地域」（夏期集中・龍谷大学提供科目）は定員5名に対し23名の応募があり、選考の結果、10名を受入、13名が受入不可となった。

2016年度から開講した大学連携型PBL科目「おうみ学生未来塾」（3科目）の受講者数は、「おうみ学生未来塾（湖東）」＜滋賀県立大学＞が6名、「おうみ学生未来塾（湖北）」＜長浜バイオ大学＞が5名

で、「おうみ学生未来塾(湖西)・近江学A」<成安造形大学>は7名の結果となり、一定数の受講者を集めている。

【別紙(2) 提供科目数・受講科目数・受講率(2013年度～2017年度) 参照】

【別紙(3) 授業科目別受講者数一覧(2017年度) 参照】

【別紙(4) 受講者数(2017年度) 参照】

(3) 大学別の送出件数・受入件数

大学別に「送出件数」「受入件数」を見ると、本年度も多くの大学において「送出件数」が低迷している(12大学のうち9大学の送出件数が0名)。一方「受入件数」は、多少の差異があるものの分散化傾向にある。

年度別に見ると「送出」は、2013年度は6大学、2014年度は7大学と低迷し、2015年度は9大学と増加したが、2016年度は7大学、2017年度は3大学と再び低下した。「受入」は、2013年度は10大学、2014年度は8大学、2015年度は10大学、2016年度は12大学(全大学)と推移し、2017年度は9大学において単位互換科目受講者を受け入れている。

【別紙(5) 送出件数・受入件数(2013年度～2017年度) 参照】

(4) 成績取得状況

2017年度の成績取得状況は、受講者数107名のうち合格が66名(61.7%)という状況で、2016年度の合格率59.9%(142名のうち85名合格)とほぼ変化がなかった。

また、2017年度は不合格者41名のうち、受講放棄・試験未受験と思われるもの(得点が「0」または成績評価が「評価不可」、「評価なし」、「出席日数不足」等)が33名(80.5%)あり、2016年度の不合格者57名のうち、受講放棄・試験未受験と思われるもの45名(78.9%)と、ほぼ同じような状況が続いている。

なお、学期ごとの成績取得状況は、前期(春学期)科目50名のうち合格が36名(72.0%)で、後期(秋学期)科目57名のうち合格が30名(52.6%)である。

以 上

別紙

(1) 提供科目一覧 (2017年度)

提供大学	科目番号	キャンパス	科目名	担当者 (フルネーム)	単位	回生 *1	単位互換 定員 *2	開講期間 *3	曜日	時限
滋賀大学	1	大津	美術の世界	新関 伸也	2	1以上	10名程度	春学期	火	2
	2	大津	自然科学への招待	加納 圭	2	1以上	10名程度	春学期	水	2
	3	大津	数学的思考	神 直人	2	1以上	10名程度	春学期	木	3
	4	彦根	経済学からの問い	松田 有加	2	1以上	10名程度	春学期	水	3
	5	大津	現代の社会福祉	白石 恵理子	2	1以上	10名程度	秋学期	木	1
	6	彦根	哲学からの問い	藤岡 俊博	2	1以上	10名程度	秋学期	月	3
	7	彦根	経営学からの問い	柴田 淳郎	2	1以上	10名程度	秋学期	月	5
	8	彦根	私法の世界	能登 真規子	2	1以上	10名程度	秋学期	水	1
	9	彦根	現代の企業と経営	竹中 厚雄	2	1以上	10名程度	秋学期	火	4
	10	彦根	音楽の世界	中根 庸介	2	1以上	10名程度	秋学期集中	-	-
	11	彦根	教育と文化	三輪 貴美枝	2	1以上	10名程度	秋学期集中	-	-
	12	彦根	彦根・湖東学	彦根市長 他	2	1以上	10名程度	秋学期集中	土	-
滋賀医科大学	13	-	哲学入門	室寺 義仁	2	1以上	10	前期	火	2
	14	-	臨床心理学	小島 隆次	2	1以上	10	前期	火	4
滋賀県立大学	15	-	地域産業・企業から学ぶ社長講義	菊地 憲次	2	不問	10名程度	前期	月	4
	16	-	近江の歴史と文化	京楽 真帆子	2	不問	10名程度	後期	月	4
	17	-	近江の美	印南 比呂志	2	不問	10名程度	前期	月	4
	18	-	びわこ環境行政論	井手 慎司	2	不問	10名程度	後期	月	4
	19	-	おうみ学生未来塾(湖東)	鵜飼 修 ほか	2	※① 2以上	※②③ 全定員30名	夏季集中	-	-
滋賀短期大学	20	-	音楽とは何か	柚木 たまみ	2	1以上	若干名	前期	木	1
	21	-	心理学	荻田 純久	2	1以上	若干名	前期	木	1
	22	-	現代社会と福祉	松木 宏史	2	1以上	若干名	後期	木	1
	23	-	オフィス総論	若生 真理子	2	1以上	若干名	前期	水	5
	24	-	秘書実務 I	若生 真理子	1	1以上	若干名	前期	金	3
	25	-	秘書実務 II	若生 真理子	1	1以上	若干名	後期	金	5
滋賀文教短期大学	26	-	物語	杉本 あゆみ	2	1以上	若干名	春学期	火	3
	27	-	随筆	杉本 あゆみ	2	1以上	若干名	秋学期	木	2
成安造形大学	28	-	おうみ学生未来塾(湖西)・近江学A	加藤 賢治・石川 亮	2	※① 2以上	※③ 10名程度	後期集中	-	-
	29	-	文化史A	加藤 賢治	2	2以上	10名程度	後期	木	2
	30	-	琵琶湖の民俗史	加藤 賢治	2	1以上	10名程度	後期集中	-	-
	31	-	デザイン史概説A	島先 京一	2	1以上	10名程度	前期	火	1
	32	-	デザイン史概説B	島先 京一	2	1以上	10名程度	後期	火	1
	33	-	東洋・日本美術史概説A	小寄 善通	2	1以上	10名程度	前期	水	1
	34	-	東洋・日本美術史概説B	小寄 善通	2	1以上	10名程度	後期	水	1
	35	-	西洋美術史A	千速 敏男	2	2以上	10名程度	前期	火	1
	36	-	西洋美術史B	千速 敏男	2	2以上	10名程度	後期	火	1

提供大学	科目番号	キャンパス	科目名	担当者 (フルネーム)	単位	回生 *1	単位互換 定員 *2	開講期間 *3	曜日	時限
聖泉大学	37	—	心理学概論A	新美 秀和	2	1	若干名	前期	月	2
	38	—	滋賀論	近藤 紀章	2	2	若干名	前期集中	—	—
	39	—	現代人と健康	炭谷 将史	2	1	若干名	後期	水	3
長浜バイオ大学	40	—	生物学基礎	岩本 昌子	2	1以上	5名以内	前期	水	1
	41	—	基礎微生物学	大島 淳・向 由起夫	2	2以上	5名以内	前期	月	2
	42	—	遺伝子工学	大島 淳	2	2以上	5名以内	後期	火	3
	43	—	おうみ学生未来塾(湖北)	松島 三兒	2	※① 2以上	※②③ 全定員36名	夏期集中	—	—
びわこ学院大学	44	—	子ども学総論	近藤 文里 鳥野 猛 榎本 恵理	2	1以上	若干名	前期	火	3
	45	—	滋賀の環境	佐々木 和之	2	1以上	若干名	後期	火	1
	46	—	スポーツバイオメカニクス	稲岡 純史	2	2以上	若干名	後期	月	3
	47	—	メンタルトレーニング論	竹内 早耶香	2	2以上	若干名	前期	火	4
	48	—	生活と福祉	片山 弘紀	2	1以上	若干名	後期	水	3
	49	—	レクリエーション論	山ノ井 勉	2	1以上	若干名	前期	金	4
びわこ成蹊 スポーツ大学	50	—	身体操作法	高橋 佳三・藤林 献明	2	1	若干名	前期	木	2
	51	—	スポーツバイオメカニクス	高橋 佳三	2	1	若干名	前期	金	4
	52	—	地球の歴史と琵琶湖	西野 麻知子	2	1	若干名	後期	金	1
龍谷大学	53	—	生活の中の数学	大西 俊弘	2	1以上	15	前期	水	3
	54	—	里山学	宮浦 富保 他	2	1以上	10	前期	月	3
	55	—	環境と人間A	奥田 哲士	2	2以上	20	前期	月	4
	56	—	地域を学ぶ 地域で学ぶ ～瀬田キャンパスと周辺地域	横田 岳人 他	2	1以上	5	夏期集中	—	—
	57	—	びわ湖・滋賀学	嶋崎 陽一	2	2以上	不問	後期	水	1
	58	—	性と人権	田村 公江	2	不問	不問	後期	月	2
立命館大学	59	—	科学と技術の歴史 /TB	森 亮資	2	1以上	10名程度	後期	木	5
	60	—	情報技術と社会/TA	服部 文夫	2	1以上	10名程度	前期	金	2
	61	—	科学・技術と社会/ C	中尾 麻伊香	2	1以上	10名程度	後期	水	5
	62	—	生命科学概論/M	小堤 和彦他	2	1以上	10名程度	前期	月	5
	63	—	薬学概論/Y	浅野 真司他	2	1以上	5名程度	前期	火	1
	64	—	スポーツ栄養学/V	海老 久美子	2	2以上	10名程度	前期	木	3

(2) 提供科目数・受講科目数・受講率 (2013年度～2017年度)

科目提供大学		滋賀大学	大滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	短期大学	大成造形大学	聖泉大学	長浜バイオ大学	びわこ学院大学	スビわこッ成蹊大学	龍谷大学	大立命館大学	全大学計
2013年度	提供科目数	11	6	4	8	2	4	1	4	4	2	9	7	62
	受講科目数	7	5	2	4	2	2	1	0	1	0	8	2	34
	受講率	64%	83%	50%	50%	100%	50%	100%	0%	25%	0%	89%	29%	55%
2014年度	提供科目数	11	6	3	8	2	6	3	4	4	2	8	8	65
	受講科目数	8	3	2	3	0	3	2	0	0	0	7	3	31
	受講率	73%	50%	67%	38%	0%	50%	67%	0%	0%	0%	88%	38%	48%
2015年度	提供科目数	11	6	4	8	3	8	3	4	13	2	8	7	77
	受講科目数	10	6	2	4	1	3	2	0	3	0	7	2	40
	受講率	91%	100%	50%	50%	33%	38%	67%	0%	23%	0%	88%	29%	52%
2016年度	提供科目数	12	3	5	8	2	6	3	5	10	3	8	8	73
	受講科目数	4	2	1	3	1	1	2	1	1	2	7	2	27
	受講率	33%	67%	20%	38%	50%	17%	67%	20%	10%	67%	88%	25%	37%
2017年度	提供科目数	12	2	5	6	2	9	3	4	6	3	6	6	64
	受講科目数	6	1	1	1	0	2	1	1	2	0	6	0	21
	受講率	50%	50%	20%	17%	0%	22%	33%	25%	33%	0%	100%	0%	33%

※ 自大学への出願は除く

(3) 授業科目別受講者数一覧 (2017年度)

2017年度受講科目一覧(提供科目数:64科目 受講科目数:21科目)				
科目番号	科目提供大学名	科目名	受講者数	集中講義
06	滋賀大学	哲学からの問い	1	
07	滋賀大学	経営学からの問い	1	
09	滋賀大学	現代の企業と経営	1	
10	滋賀大学	音楽の世界	3	○
11	滋賀大学	教育と文化	4	○
12	滋賀大学	彦根・湖東学	6	○
13	滋賀医科大学	哲学入門	1	
19	滋賀県立大学	おうみ学生未来塾(湖東)	6	○
21	滋賀短期大学	心理学	4	
28	成安造形大学	おうみ学生未来塾(湖西)・近江学A	7	○
30	成安造形大学	琵琶湖の民俗史	1	○
38	聖泉大学	滋賀論	37	○
43	長浜バイオ大学	おうみ学生未来塾(湖北)	5	○
44	びわこ学院大学	子ども学総論	1	
47	びわこ学院大学	メンタルトレーニング論	1	
53	龍谷大学	生活の中の数学	3	
54	龍谷大学	里山学	1	
55	龍谷大学	環境と人間A	2	
56	龍谷大学	地域を学ぶ 地域で学ぶ ～瀬田キャンパスと周辺地域	10	○
57	龍谷大学	びわ湖・滋賀学	6	
58	龍谷大学	性と人権	6	
総 計			107	9科目

(4) 受講者数 (2017 年度)

2017年度	学生所属大学													総計
	滋賀大学	滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	短滋期賀大文 学教	成安造形大学	聖泉大学	長浜バイオ大学	びわこ学院大学	スびわこ成蹊 スポーツ大学	龍谷大学	立命館大学		
科目提供大学	/													
滋賀大学													16	16
滋賀医科大学													1	1
滋賀県立大学													6	6
滋賀短期大学													4	4
滋賀文教短期大学														0
成安造形大学									1				7	8
聖泉大学	1								1				35	37
長浜バイオ大学	1								0				4	5
びわこ学院大学													2	2
びわこ成蹊スポーツ大学														0
龍谷大学		2									1		25	28
立命館大学														0
総計	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	100	107

(5) 送件数・受入件数 (2013 年度～2017 年度)

大学名	送件数					総計	受入件数					総計
	2013	2014	2015	2016	2017		2013	2014	2015	2016	2017	
滋賀大学	8	9	6	4	4	31	36	29	31	29	16	141
滋賀医科大学	2	3	1	1	0	7	20	15	18	2	1	56
滋賀県立大学	0	0	4	2	0	6	6	2	3	12	6	29
滋賀短期大学	0	0	0	0	0	0	9	6	9	5	4	33
滋賀文教短期大学	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	0	6
成安造形大学	0	1	2	1	0	4	2	17	9	7	8	43
聖泉大学	11	11	11	0	0	33	20	12	19	40	37	128
長浜バイオ大学	12	0	6	0	3	21	0	0	0	5	5	10
びわこ学院大学短期大学部	1	1	0	1	0	3	2	0	4	1	2	9
びわこ成蹊スポーツ大学	0	1	4	0	0	5	0	0	0	3	0	3
龍谷大学	0	0	1	1	0	2	46	26	27	34	28	161
立命館大学	113	88	91	132	100	524	3	7	5	2	0	17
総計	147	114	126	142	107	636	147	114	126	142	107	636

以上

平成30年3月31日

平成29年度 広報事業報告

1. 担当は以下の通り

事務局

2. ホームページの管理・運営について

コンソーシアム各事業部会および各大学・自治体等で開催されるイベント等の情報提供を行った。年度内において「お知らせ」記事を33件ホームページ上で掲載した。情報の更新

- ① 事業部会のページについて、平成29年度の事業内容に更新した。
- ② 総会の決議を受けて、組織図、役員一覧、役員会議事録、財務状況を更新した。
- ③ 一部の大学について、紹介ページを更新した。

なお、年度内のアクセス数は42,332件（ユニークユーザー数15,040件）であった。

3. 広報資料の配布

前年度に作成した、2017年度版のリーフレット（A4・カラー4ページ）を関係機関に配布した。

4. 事業委員会と連携した広報活動について

大学地域連携事業（大学地域連携課題解決支援事業、環びわ湖大学地域交流フェスタ）、学生支援事業（滋賀の魅力発信動画の掲載）、就職支援事業（合同企業説明会、環びわ・しが就活塾など）、単位互換事業（互換科目の受講案内）について、各事業委員会と連携してホームページ掲載をはじめとした広報を行った。

（以上）

滋賀県からの委託事業

1. 調査名 滋賀県への若者の定着等に関する大学生意識調査
2. 実施主体 滋賀県、環びわ湖大学・地域コンソーシアム（受託）
3. 受託期間 平成29年5月15日（月）から平成30年3月30日（金）まで

4. 調査経過

(1) 調査対象（母集団）

滋賀県内の大学・短期大学に在学する学生のうち、7,000人を選択、大学学部・院の学科、研究科ごとに各学年で対象者を均等に配分した。

(2) アンケートの実施

11月1日から12月1日までの間、滋賀県のホームページより「滋賀ネット受付サービス」を利用したアンケートに対する一問一答方式（Web調査）で実施した。約7,000件のうち有効回答者は、1,406名（20.1%）となった。インセンティブとして、回答者のうちから抽選で200名に商品券500円分を進呈した。

(3) 分析：単純集計、クロス集計

滋賀大学が設立した一般社団法人近江データサイエンスイニシアティブに委託し、成果物が納入された。（平成30年1月15日）

(4) 提言と報告

有識者2名（滋賀大学データサイエンス学部 伊達平和講師、滋賀県立大学 仁連孝昭名誉教授）に依頼して、県内在学大学生・短期大学生の滋賀県内への就職、起業、県内への居住の意向、滋賀県の認知度やイメージについての分析結果を踏まえ、課題と今後とるべき政策を提言してもらい、3月に調査報告書を刊行、滋賀県に報告した。

ライフプランニング・プログラムモデル構築事業

1. 目的

結婚したい、子どもを2人以上生みたいという若い世代の希望を叶える少子化（自然減）対策が進められているが、その最上流は、主体的に希望する人生を実現しようとする若者の行動の支援である。

そこで、仕事や結婚、妊娠・出産、子育て、仕事と家庭の両立等に関する知識の取得や幼児やその家族とのふれあい体験等を通じて、大学生が将来を総合的に見通して自らのライフデザインについて考える機会を提供するための教育プログラムを研究・調査し、実践に向けて教材の開発やプログラムの開発、人材育成を行うことを目的とする。

2. 内容

(1) ライフプランニング・プログラム検討会の開催

大学教員、子育て支援団体、県、市町の自治体関係者により、予備会1回、検討会を4回程度開催し、プログラム、教材の開発、モデル講座等の検討と評価、改善について意見交換を行う。

① 検討会メンバー

- 平松 紀代子 滋賀大学教育学部准教授
- 内藤 紀代子 びわこ学院大学
- 京樂 真帆子 滋賀県立大学人間文化学部教授
- 上田 洋平 滋賀県立大学地域共生センター助教
- 近藤 紀章 滋賀大学環境総合研究センター研究員
- 伊崎 葉子 NPO 法人ほんわかハート
- 中島 みちる 子民家 etokoro
- 鹿田 由香 滋賀子育てネットワーク
- 小嶋 栄子 滋賀県子ども・青少年局
- 小澤 俊介 滋賀県子ども・青少年局
- 堀部 栄次 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局長

② 検討会の開催状況

準備会	平成29年6月12日
第1回検討会	平成29年8月31日
第2回検討会	平成29年9月28日
第3回検討会	平成29年11月30日
第4回検討会	平成30年1月26日

(2) ライフプランニング用のプログラム・ワークシート・データブック（教材）の開発・作成

ライフプランニング講座（ワークショップ）のプログラムを、大学生用に開発するとともに、ライフデザインシートなどのワークシートを開発する。

また、ライフプランを考える際に重要となる「働き方」、「身体と心」、「家族」、「家計」についての基礎知識や最新の情報をまとめた教材「ライフデザイン・データブック(資料集)」を作成する。

(3) 先進事例調査

「ライフプランニング講座」、「幼児とのふれあい体験活動」など若者のライフデザイン教育に関して先進的な取り組みをしている事例を調査し、現地調査する。

- ①平成29年11月22日 石川県立内灘高校「親子交流授業」、
石川県庁「ライフプラン・キャリアデザインセミナー」
- ②平成29年12月4日 小松短期大学
「ライフプラン・キャリアデザインセミナー」授業

(4) ライフデザイン・データブックの編集、印刷

(2) で作成する「ライフデザイン・データブック」「ライフデザイン・データブック（家計プラン編）」を編集・印刷して、教材として各大学等に配布した。（平成30年3月27日刊行）

(5) ケースブックの企画、取材、編集、印刷

就職、結婚・出産、仕事と家庭の両立など先輩社会人が経験したライフイベントとそれに対する意見や反省などを大学生が取材したライフプランの事例集「ライフデザイン・ケースブック（事例集）」を編集し、印刷して大学等に配布した。

（NPO法人ほんわかハートの企画で、滋賀大学、滋賀県立大学、びわこ学院大学の学生が取材し、平成30年3月27日刊行）

(6) モデル講座の実施

開発したプログラム、教材、人材で、「ライフプランニング講座」、「幼児とのふれあい体験活動」を2大学でモデル的に実施し、効果や達成度を評価し、プログラムの改善につなげる。

- ①びわこ学院大学 平成29年10月11日、11月22日、11月29日実施
- ②滋賀大学（教育）平成29年12月6日、12月13日、12月20日実施